

各課室・事務所において、業務の内容・業務の特性・来客の状況・機器等の整備状況などに応じ、
各々の課室・事務所で工夫し、次に示す具体的な取組を実施する。

2 財(物品等)やサービスの購入に関する取組

(1) 用紙類の購入に関する取組

コピー用紙は、古紙配合率100%、白色度70%以下の再生紙を使用する。

A 4のコピー用紙900枚を初めて使用する木材パルプからつくるのには、
立木1本分の材料が必要です。

白色度70%以下の再生紙には、次のような利点があります。

(1) 白色度70%以下の再生紙は、環境にやさしい

再生紙の製造では、白色度を高めるほど、漂白に使用する薬剤やエネルギーを多く必要とする。このため、白色度70%以下の再生紙は、相対的にエネルギー消費量等を減少させることとなり、環境への負荷を低減する。

(2) 白色度70%以下の再生紙は、市中回収古紙の利用を促進

白色度80%の再生紙は、模造紙や未印刷の裁断くず等、回収量が少なく価格の高い上級古紙を原料としているが、白色度70%以下の再生紙は、オフィスで使用された古紙や新聞古紙等を原料としているため、停滞している市中回収古紙の利用を促進する。

(3) 白色度70%以下の再生紙は、目にやさしい

光の反射率が高いと、目に負担がかかり、心理的にも落ち着かない。

インテリアの分野では、壁面の反射率を60%以下としているように、適度な白さが落ち着きにつながる。

用品指定品目のコピー用紙は、キャノン EN-100(古紙配合率 100%白色度 70%2,500枚入)が1,800円、ゼロックス Green100(古紙配合率 100%白色度 70%2,500枚入)が1,750円です。ちなみに、上質紙(用品指定品目でない。)が1,760円に相当しますので、価格はほぼ同じです。



印刷物は、再生紙とする。

再生紙は高い? 再生紙は質が悪い? 再生紙を扱っている店が少ない? というのは、全部過去の話です。再生紙の普及が進むにつれて、再生紙は上質紙と比べ価格・品質・品ぞろえは、ほとんど変わらなくなりました。

印刷発注の起案が回る際に、物品調達担当者が再生紙の利用を確認し、実施推進者やリーダー責任者のところでも再度確認する体制をつくる。

なお、上質紙による発注を行う場合は、起案に再生紙が使用できない理由を書くこととする。

(2) 用紙類以外のものの購入に関する取組

エコマーク商品・グリーンマーク商品や国際エネルギースターロゴの表示のある製品を購入する。

環境に配慮された商品に付けられるシンボルマークとしては、(財)日本環境協会エコマーク事務局が認定したものに付けられるエコマークと(財)古紙再生促進センターグリーンマーク実行委員会が認定した再生紙利用製品に付けられるグリーンマークがある。



また、文具メーカーのカタログには、環境対応型商品のページを設けているものも多いので、これを参考とし、優先的にこれらのマークの付いた商品を採用する。

国際エネルギースターロゴのついたオフィス機器は、待機している状態がある一定の時間を経過すると消費電力を抑制する省エネルギー

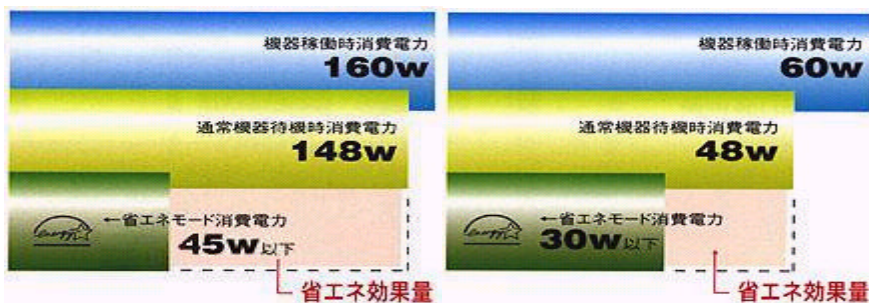


モードに自動的に切り替わる機能と両面コピー機能を備えており、紙の消費量を節約します。

コンピュータ (デスクトップ本体部分)

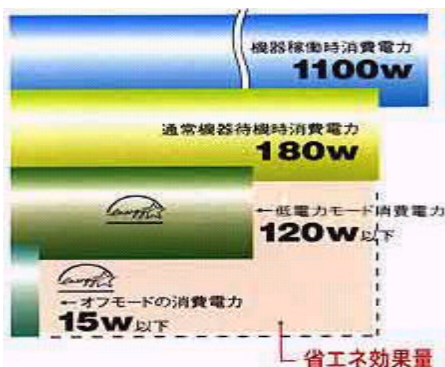
一定の待機時間が過ぎると省エネルギーモードに入り、消費電力を 30W 以下(一体型 45W 以下)におさえる主電源省エネルギータイプです。

単独型(最大定格出力電力(連続) 200W) ディスプレー一体型



複写機

30cpm の複写機の場合、国際エネルギースターロゴの付いた製品は、待機時消費電力(低電力モード消費電力)が 120W 以下の自動設定です。待機時の消費電力は通常機器と比べ 8～65% 以下と省エネルギー設定になっている。



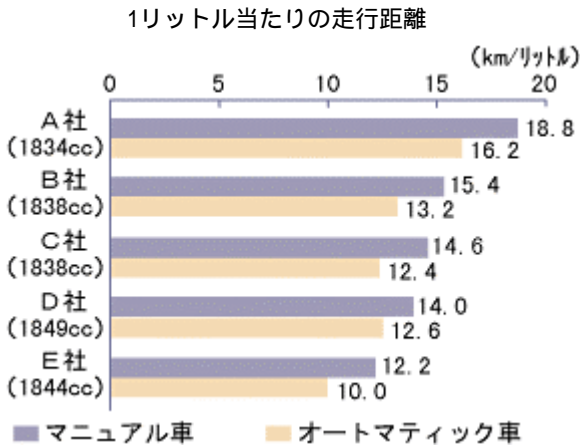
両面コピー機能搭載機では、コピー用紙使用量が削減できる。

購入する際は、環境に配慮した商品の購入をする。

商品やサービスを購入する際は、まず、その必要性を考え、次に価格や品質だけでなく、環境への負荷が少ないものを優先させる。

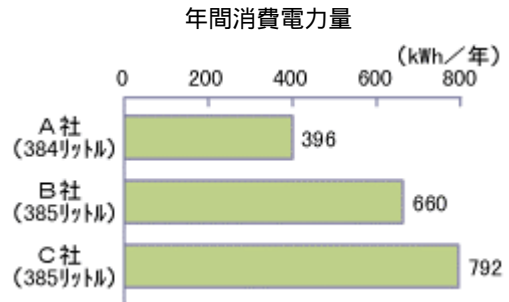
乗用車

同じくらいの排気量の車でも、メーカーや車種によって、こんなに燃費効率が違います。



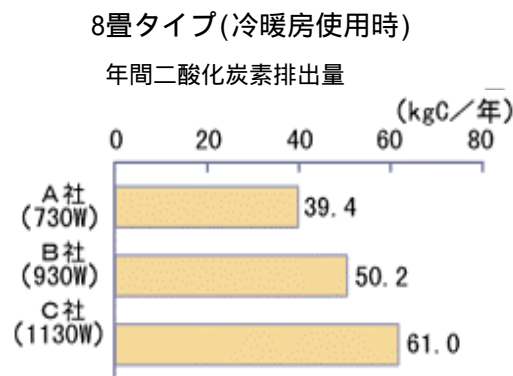
冷蔵庫

同じくらいの大きさでも、メーカーによって、電力消費量はこんなに違います。



エアコン

消費電力量が多くなれば、その分二酸化炭素排出量も多くなります。



テレビ

同じ25型のテレビでも、多機能型のほうが1時間当たりの電力消費量が多くなります。

